

子どもへの意見聴取について【意見聴取共通フォーマット】

○実施方法(子どもの希望に応じてやり方を選択する)

- ・ワークショップ(子どもが複数いた方が話しやすい場合)
- ・ヒアリング(他の子どもがいると話しにくい場合)
- ・アンケート(対面で話すのが苦手な場合、対面による意見聴取の都合がつかなかった場合)

○意見聴取シート

【導入】(条例・意見聴取の目的・配慮事項についての説明)

中野区は、子どもの権利に関する条例を制定して、子どもが、

- ・暴力をふるわれたり傷つく言葉を言われたりしないこと
- ・健康に生活できること
- ・学び、休み、遊ぶこと
- ・失敗してもやり直せること
- ・プライバシーが守られること
- ・差別されないこと
- ・不当な扱いを受けないこと (第 9 条)

これらがきちんと守られているかどうか、またこれから、誰にとってもすみやすい中野になるためには何が必要か、みんなに意見や考えを聞いて、みんなと一緒にまちづくりをすすめていくことになりました。

私たちは、みんなの意見や考えを聞いて、区長に伝える役割を持っています。

(短く委員の自己紹介)

今日は、いろいろな思いや考えを聞かせてください。

今日みんなに聞いた話は、まとめて、8 月〇日に、区長に直接伝えます。

それでは、これからいくつか話を聞きたいのですが、

みんな話を聞く前に、いくつか確認をします。

まず、答えたくないときや、答えが思いつかないときは、無理に答える必要はありません。

また、話してもらった意見を記録するときに、個人名は書かないので、個人が特定されることはありません。

休みたくなったら、遠慮なくいってください。

正しいことを言わなければ、と思う必要はありません。どんなことでもいいので、教えてください。

【あなたは何をしている時が一番楽しいですか】 ※・緊張をほぐすため(アイスブレイク)

【困っているとき、悩んでいるときは、どうしていますか。】

- ・誰に相談していますか？
- ・どこに相談していますか？
- ・どのような相談機関だと利用したいと思いますか？

【あなたが「中野にあったらいいな」と思う場所はどこな場所ですか。】

【その他、家庭・学校・地域のなかで、変わってほしいところ、変えたいことがありますか。】

- ・具体的に

【中野区子どもの権利に関する条例について】

- 中野区子どもの権利に関する条例を知っていますか？
- 中野区の子どもたちに条例を知らせるには、どうしたらいいと思いますか？

○配慮すること

- ①子どもの意見表明は、権利であり、義務ではないこと(辞めるのも自由)
- ②子どもの不安感・恐怖心を取り除くこと
- ③何のために聞くのか、聞いた意見をどのように活かすのかを話すこと(情報提供)
- ④話しやすい環境づくり(ファシリテーターの配置、リラックスできる場づくり、楽しい雰囲気づくり)